

- 1 実施日時 11月28日(木)～
- 2 実施学年 第6学年
- 3 実施教科 総合的な学習の時間
- 4 単元名 自分の「今」の気持ちがこもった卒業文集を書こう
- 5 学習の流れ

「今」の気持ちがこもった卒業文集を書こう

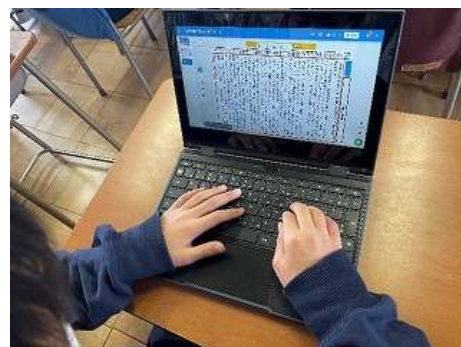
- 1 小学校生活6年間で振り返り、思い出に残った場面を書き出す。
- 2 思い出に残った理由やその時の自分の気持ちを振り返る。
- 3 文章にまとめる。

6 Chromebook の活用

- スクールタクトで下書きの作成をする。
- 出来上がった下書きを推敲する。

7 児童・生徒の様子

自分の「今」書きたい思いについて、ウェビングマップを活用し考えを広げ、スクールタクトに下書きを入力した。ウェビングマップでは、思い出や大切にしていること、学んだこと、座右の銘など今の自分の気持ちを引き出し、書きたいテーマを具体化した。そして、クロームブックのスクールタクトを使用し、下書きを作成した。文章の順序を変えたり、直したりすることが簡単にできるため、手書きよりも取り組みやすかった。しかし、縦書き設定で作成したため、矢印キーで入力場所の移動を行ってしまうと、上下左右反対に動いてしまっていた。そのため、入力場所を変更する際は、入力したい場所をタッチする方法が簡単だった。クロームブックによっては、タッチパネル不良が起きているものがあり、その場合は、マウスで入力場所をクリックする方法で対応した。しかしながら、手書きよりも負担が少なく、推敲が容易にできるため、下書き作成の有効な手段となった。



8 振り返り

ウェビングマップで「今」の思いを広げていった際には、多くの考えが出て、具体化することができていた。どのテーマで書こうか悩んでいた児童いるぐらいだった。クロームブックのスクールタクトを活用した下書きでは、文章構成やテーマの変更が簡単にでき、児童にとって負担が少なく意欲的に文集作成に向かっていた。文章を読み直し、順番を変えたり、表現を変えたりすることが容易にできるため取り組みやすそうだった。また、漢字の変換も簡単にできるため漢字を調べたり、漢字の間違いを直したりする必要が少なかった。下書きをお手本として清書を書く際も、クロームブックで入力された字体がお手本となるため読み取りやすく、書きやすそうにしていた。

